

# INFORMATION

## 第26回看護学教育学会

**会期：**2016年8月22日(月)・23日(火)

**会場：**京王プラザホテル東京  
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

Tel. 03-3344-0111(代表)

**【会長講演】**8/22(月)9:10～10:10 看護職生涯発達学から看護学教育への発信：佐藤紀子(東京女子医科大学看護学部教授)／**【教育講演Ⅰ】**8/22(月)10:20～11:20 仕事の報酬は次の仕事：高橋伸夫(東京大学大学院経済学研究科教授)／**【教育講演Ⅱ】**8/22(月)13:50～14:50 教職員全員で理念(リネン)を織りあげるカリキュラム運営：片野裕美(東京警察病院看護専門学校副校長)／**【教育講演Ⅲ】**8/23(火)9:00～10:00 看護に活かす心理学のエッセンス——学び続ける看護職たちへのメッセージ：久田満(上智大学総合

人間科学部学部長)

**【シンポジウムⅠ】**8/22(月)14:50～16:20 看護実践の中で共鳴し、統合される看護学：梶原厚子(はるたか・あおぞらネット統括看護管理者)／山内典子(東京女子医科大学病院リエゾン精神看護専門看護師)／江川幸二(神戸市看護大学急性期看護学教授)／**【シンポジウムⅡ】**8/23(火)10:30～12:00 社会情勢もなんのその、しなやかに、したたかに生きる看護職：柳修平(練馬区民、保健学研究者)／三井さよ(法政大学社会学部臨床社会学教授)／宮子あずさ(東京女子医科大学大学院非常勤講師、精神看護訪問看護師、作家)**【市民公開講座】**8/23(火)13:30～14:50 70社を超える人々が響きあうものづくり：西村修(下町ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員会副委員長)

**【指定交流セッション】**

①奥裕美、三浦友理子(聖路加国際

大学)『「臨床判断モデル」を用いた教授方法の検討～ナースのように考える思考プロセスを支援する～』

②鈴木玲子(埼玉県立大学保健医療福祉学部)『TBL 事始め——Team Based Learning 教育の体験レッスン』  
③佐々木幾美(日本赤十字看護大学)『米国における CNE(Clinical Nurse Educator)制度』

④池西静江(Office Kyo-Shien)『看護教育へようこそ——臨地実習指導の醍醐

**【理事会企画】**

「採択される論文を書くためにオーサーシップ(Authorship)を発揮しよう！」

**教育活動委員会：**第4回看護ハナマル先生模擬授業

**臨地実習指導委員会：**今、改めて臨地実習指導に必要な能力とは(仮)

**研究推進・研究助成委員会：**「教育学における研究方法(仮)」／「研究助成金による研究の発表」